

放置自転車の状況に 差が出ている要因は

石崎 誠子議員

永和駅は駐輪場から駅までの距離がある
企画政策部長



▲ “永和駅” 駐輪場以外の通路等に置かれた自転車や原付

問 永和駅には、西側、東側にそれぞれ駐輪場がある。いずれの駐輪場も改札口から距離があり、放置自転車や原付が目立つ。市内にある8駅のうち、永和駅のように放置自転車が目立つ駅は他にもあるのか。また、他の駅と比べて、放置自転車の状況に差が出ている要因は。

答 永和駅以外で放置自転車が目立つ駅はない。駐輪場以外の場所へ駐輪

が目立つ原因として、永和駅から駐輪場までの距離があること、通路幅があり自転車を停めても歩行者が通ることが可能であること、駅利用者が多いことなども要因ではないかと考えている。

問 市は、当面の安全対策として、駐輪を禁止する対策を優先するのか、あるいは、中長期的な視点で、ロータリー整備等も含めた駐輪場の再配

置など、抜本的な改善を検討していくのか。また、近隣市とも協議し対策を進める考えはあるのか。

答 駐輪場以外のスペースに自転車を停めることのないよう、看板の設置や駐輪の防止策の検討を進め、安全対策に努める。放置駐輪される利用者へ、適切な駐輪をしてもらうよう、啓発と他自治体の対策を研究していく。

セールアンドリースバックの検討は

問 基金総額171億円のうち125億円が債券

そのうち、今後10年間で15億円が現金化できる。近年は基金の取り崩しを前提とした予算編成が続いているが、このような状況の中、次年度以降も基金を取り崩した予算編成は可能か。また、令和

8年度は、どの程度の予算の縮減が必要か。

答 今年度も、歳出に対する歳入不足分について、基金を取り崩して賄っており、6年度決算では、一般会計における基金総額は約13億6千万円の減となった。8年度は、基金の取り崩しに頼らない予算編成に向け、慎重に進めている。

問 今後ますます財政運営が非常に厳しい状況が続くことを踏まえて、まとまった額の運営資金の調達方法として、セールアンドリースバック方式の検討は。

答 即時の財源確保が可能となること、修繕費や維持管理費が不要になるという利点がある一方で、デメリットも伴うため、慎重な検討が必要である。